

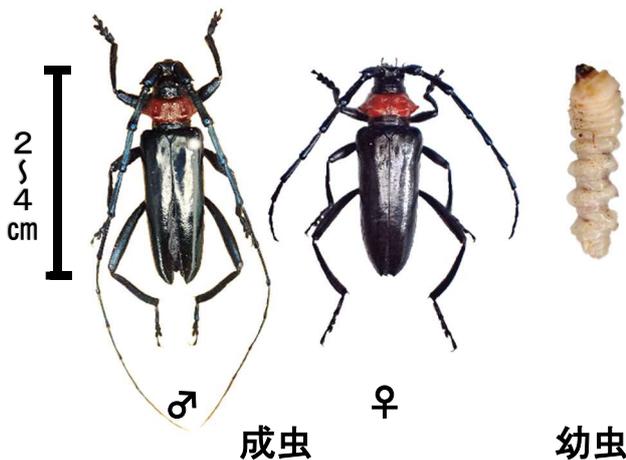
クビアカツヤカミキリ の情報提供に御協力下さい

栃木県南西部で特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害が拡大しています。幼虫がモモ、スモモ、ウメ、サクラに寄生し、内部を食い荒らすことで、樹木は最終的に枯れてしまいます。

さらなる被害の拡大を防ぐために、皆さんからの情報提供が必要です。写真を参考に成虫やフラス（幼虫のフンと木くず）を見つけた場合には、下記のお問合せ先まで御連絡下さい。

成虫の特徴

- ・ 全体に光沢のある黒色で、胸部(クビの部分)が赤い
- ・ 成虫は6月から8月に現れる
- ・ 捕まえると刺激臭を発することがある
- ・ 体長は2～4cm



クビアカツヤカミキリ（ほぼ実物大）



幼虫が入り込んだ樹木からは、**大量のフラス**（幼虫のフンと木くずが混ざったもの）が**排出**されるので、目印となります。

<お問合せ先>

お住まいの市役所・町役場
栃木県農業環境指導センター防除課
栃木県農政部経営技術課
栃木県環境森林部自然環境課

電話：028-626-3086
電話：028-623-2286
電話：028-623-3207

被害例



被害によって枯れてしまったモモ園



幹に開いた成虫の羽化脱出口



樹木内部を食い荒らす幼虫



赤茶色のフラスが株元に積もったサクラ(左)とモモ(右)



うどん状のフラスを幹から排出



地表に落下したフラス

防除に関する詳細は「クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル」をご覧ください。

栃木県 クビアカ 防除対策マニュアル



★クビアカツヤカミキリを見つけたら…

- ・裏面のお問い合わせ先に御連絡の上、発見場所、発見日等をお伝えください。
- ・成虫は見つけたら踏みつぶす等して捕殺してください。

～可能であれば御協力いただきたいこと～

- ・写真を撮影してください。(フラスの拡大写真や株元の様子が見える写真)
- ・木の幹で見つけた場合には、樹種をお知らせください。

特定外来生物

クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定され、**生きたままの運搬や飼育、販売等が禁止**されており、違反した場合には罰則があります。

